

Ⅷ. 特定健診・特定保健指導の研修企画・評価 研修事業の企画・実施・評価の進め方

国立保健医療科学院 公衆衛生看護部
中板育美
itapooh@niph.go.jp

研修は「人づくり（人材育成）」

* 研修 OFF-JT（職場外研修）
OJT（職場内研修）



* OFF-JTの役割

- ◆ 日々の活動を体系的に整理し捉え、自分の立ち位置を確認する
- ◆ 最新の情報、知識、スキルの獲得
- ◆ 日々の出会い、出来事を振り返り、反省（内省）や学びに置き換え、新たな一歩のエネルギーにする！

研修を企画するときの心得

- ニーズは**多角的**に・深くつかむ
 - **対象者層**を具体的にイメージする。（**誰が...**）
 - ◆研修計画の先に 『患者・住民・従業員』がいる。
 - 対象者が研修終了後に**どうなっていて欲しいか**をイメージする（目的・目標＝ビジョンの明確化）
 - あれもこれも欲張りたいは×
 - ベストな講師
 - 研修の**評価**を企画段階で意識する
 - 対象者を高いモチベーションで集める
 - 研修計画書に愛着をもてる企画を！
-

◇一般目標 (GIO:General Instructive Objectives)

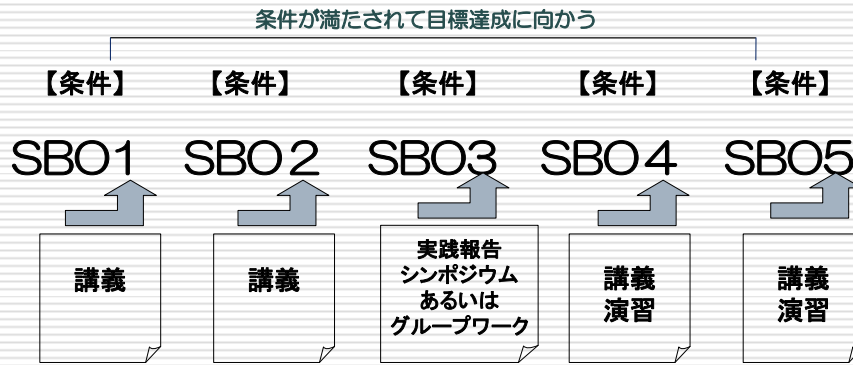
取り上げた研修が達成したい状態

◇到達目標 (SBO=Specific Behavioral Objectives)

目的を実現するために起こしたい
起きたらいい具体的な変化をもたらす
ための行動

一般目標と到達目標の関係

GIO（一般目標）



◇一般目標（GIO）は、

PRIによって研修対象者に明確に示されること。

- ・現実的で理解可能、達成可能なもの。
- ・研修者が主語。

（～の推進、～の強化、～の向上は×）

◇到達目標（SBO）

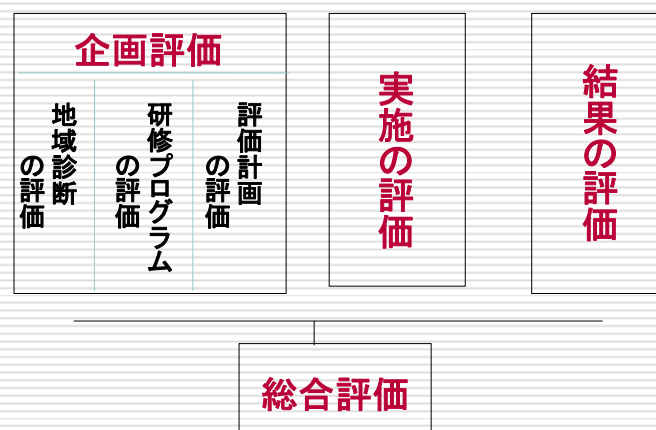
行動として示したもの。「～ができる」



評価の必要性

- 評価は、研修の**効果を立証**するため！
- 評価は、研修の**見直しや改善**のため！
- 経過（**プロセス**）の評価が重要←効果がない
→研修プログラム（活動）の見直しのチャンス！
 - ・参加率、スキルの獲得度、保健指導技術への自信、満足度…
- **アウトカム**（結果評価）が重要→アカウンタビリティ

評価を行う時の3つの側面



企画評価

■目標設定の妥当性

ニーズ（研修対象者に求めたいこと・研修対象者が求めていること・悩んでいること・課題）に見合った目標であったか？

■プログラム企画の妥当性

対象者の選定、PR方法、プログラムの構成、講師の選定、機材や人材の確保、投入された資源 など

■評価計画の妥当性（SBOの具体性）

評価の観点・指標は評価をしてみてやりやすかったか？

実施評価

■実行段階での諸活動の実績

研修の参加者数 参加者の属性
参加して欲しい人が参加したか？

■内容・プログラムの妥当性

教材 機材の適切性 など
研修環境に対する反応
資料や使用機材に対する反応

結果評価

□SBOの達成度（SBOが達成できればGIOが成就という構図）

- ・事前事後評価が常套
 - ・研修前にSBOをつけてもらう。
 - ・研修終了後に再度SBOについて答えてもらう。

- ①知識・技術がまったくない。
- ②概念や考え方を知っている。
- ③概念や考え方を知っているが現場で実践は難しい
- ④支援があれば、現場で実践することができる。
- ⑤自分で現場で実践でき、他の人にも説明できる。
- ⑥関連知識や技術を総合的に扱い、他の人にSVができる。

（科学院の場合）

研修効果の評価と測定

研修の効果は、

- ① 研修前の能力レベルと研修後の能力レベル
- ② 研修を受けた者の能力レベルと受けない者の能力レベル
- ③ 研修の目標としていた能力レベルと実際に達成した能力レベル

などいくつかの比較の方法がある。

出展：桐村晋次著

人材育成の進め方<第3版>（日経文庫）

人材育成

育成: 主体性を尊重して、人材として育てること。

価値観や意欲なども含む全体的な人間向上をめざすものであり、人材育成は長期的な視野にたち、将来を見据えた大きな仕事

× 教育 → ○ 共育

○JTも含めて《事例検討やロールプレイ、グループディスカッション、ケースメソッドなど》

養成・教育: 通常、能力や知識・技術を一定以上に高めること。

自分の健康を自分の身体と向き合いながら考え、行動
その毎日を支える・自分らしく生きる

を支える**人材を育てる研修**

自信をもって提供できる、愛着の持てる研修計画を！

参考文献

・平野かよ子、尾崎米厚編：事例から学ぶ保健活動の評価、医学書院、2001

・Lawrence W.Green, Marshall W.Kreuter, 神馬征峰訳：実践ヘルスプロモーション PRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価、医学書院、2005

・久常節子、島内節、星旦二編：地域看護学講座5 地域活動計画と評価、医学書院、1994

・桐村晋次、人材育成の進め方〈第3版〉、日経文庫

